

表2 適合証明書の「使用条件」欄の審査内容

適合証明書に記載すべき項目 (例)	適合証明書に記載すべき内容 (例)	設置届等の記載項目	設置届等の記載内容 (例)	審査基準
ボイラーの種類	炉筒煙管式蒸気ボイラー	種類		適合証明書に記載されているボイラーの種類に、設置届等の種類が含まれること。
燃料・熱源の種類、供給能力	灯油、重油、天然ガス、バイオマス、廃熱等	燃料	石油、微粉炭、重油、ガス、その他	適合証明書に記載されている燃料・熱源の種類に、設置届等の燃料の種類が含まれること。
伝熱面積 定格蒸発量 蒸気温度	●～●m ³ ●～●kg/h 飽和蒸気	伝熱面積 最大蒸発量		適合証明書の伝熱面積の範囲に、設置届等の伝熱面積が含まれること。
最高使用圧力 使用温度範囲	●～●MPa ●℃～●℃	最高使用圧力		適合証明書の最高使用圧力の範囲に設置届等の最高使用圧力が含まれること。
ボイラー設置場所・条件	ボイラー設置場所でのボイラー取扱者の滞在時間（12時間以下）、ボイラーの爆発等で影響を受ける周辺労働者の人数（●人程度）等	ボイラー室の位置 ボイラー施設の構造	一階、地階、二階、その他 木造・鉄骨等、鉄筋コンクリート造、その他	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の運用でのボイラー取扱者のボイラー室の滞在時間が、適合証明書の滞在時間の上限を超えないことを確認すること。 ・適合証明書の周辺労働者の人数が0人となっている場合、設置場所の周囲に労働者が常駐する作業場がないことを確認すること。（証明書の周辺労働者の人

				数が1人以上となっている場合は特段の審査事項なし。)
使用電圧・電気容量	AC●～●V, ●～●kw			適合証明書に使用電圧・電気容量が記載されていること。
自動制御装置の点検方法・頻度等	取扱説明書による。			適合証明書に自動制御装置の点検方法及び頻度が記載されていること。